

平成 28 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○下水熱蓄熱融雪システムの開発に関する研究（総合設備コンサルタント・中央復建コンサルタンツ・大日本プラスチック・デンプレックス・ジャパン・北海道大学・大阪市立大学・旭川市 共同研究体）
変動する融雪への熱の消費と生産を時間的にずらして平準化させる下水熱蓄熱システムと高効率な金属製熱交換器を用いた車道融雪技術に関して、パイロット施設等による融雪性能および LCC 削減効果に関するデータ取得並びに評価が実施され、一定の成果が得られた。

○予備調査テーマ名：【下水熱を利用した車道融雪技術】

当該予備調査テーマについては、パイロット施設規模での技術の妥当性および導入可能性が確認されたことから、今後は、技術性能が実施設で確実に発揮されることを確認するため、実規模施設で評価されることを期待する。